社説

政黨內閣の試驗石

官吏任用令は斷じて變改せざる可らず我輩の更らに改めて勸告する所なり抑も今の任用法なるものは往時藩閥政府が全盛得意の時代に專ら政府人を以て自家の地位を固むるの精神より出でたるものにして當初の規定に於ては高等官たるの特權をば官立大學の卒業生に限り全く私立學校を排斥したるを見て其精神を知るに足る可し官私を區別して政府の門を開閉するは恰も宮門の出入に位階の有無を問ふが如し宮庭は自から雲上の事にして漫に近づく可らず無位無官の輩の出入を許可するも差支なけれども國民の公役を執る可き政府の當局者が自から雲上化し官立學校の卒業と名くる一種の位階を所持せざれば其門に入るを許さずと云ふに至りては恰も政府を私有するものにして沙汰の限りと云はざるを得ず藩閥政府が天下の人心を失ひたるは畢竟此の邊の擧動に原因するものにして因緣明白なりと云ふ可し或は現行令は當初の規定を改正して官私の區別を撤し一樣平等に試驗の門を開きたるものなれば敢て差支ある可らずなど云はんかなれども其成立の精神にして既に斯くの如しとすれば民黨政府たるものに於ては藩閥の遺物として第一に破壞す可きのみならず新政の實際に徴して是非とも破壞の必要を認めざるを得ず我輩の敢て勸告する其次第を述べんに抑も高等官たるに任用令に定めたる資格を必要として試驗の法を設けたるは其資格を具ふる者に非ざれば高等官たるに適せずと認めたることならんと雖も實際に果して其資格を要するや否やと云ふに我輩に於ては毫も必要を認めざる者なり凡そ人間の伎倆は單に一場の試驗を以て知る可きに非ず試驗に及第して官吏たる者必ずしも有用の器に非ざると同時に落第したるもの決して無用の材に非ず所謂屬官雇の如き所謂刀筆の吏ならんには算筆の藝を試みて之を取るも差支なけれども高等官として算筆以外に精神の働きを要する人物の採否を單に試驗に訴ふるは決して事の當を得たるものに非ざるなり試に事實に就て之を證せんに現政府にて新任の勅任參事官又は局長の如き者も之を採るに試驗を以てしたらんには及落孰れとも知る可らざるのみか恐らくは落第を免かれざりしことならん資格に於ては則ち然りと雖も其人々の伎倆を見れば實際の事に當りて毫も差支なきに非ずや單に參事官局長のみならず現任大臣の如き試驗の及第は孰れも覺束なき人物のみなれども國務料理の責を負ふの一段に至りては何人も之に任じて異議を唱ふるものなし要は試驗の及落を以て實務を云々するの無稽なるを知る可し我輩が任用令に重きを置かざる所以なれども更らに一步を進めて差當り其破壞を主張するの理由は外ならず政府の革新に就て是非とも斷行の必要あればなり思ふに今回の政變は單に內閣の更迭に非ず即ち藩閥政府が政黨內閣に變じたるものにして政府全體根本的の大變革と認めざるを得ず內閣の更迭に閣員の總辭職は施政一新の為めに實際の必要とあれば今回の如き政府全體の大變革に處し部內の大更迭は勿論にして若しも其決斷を敢てせざるに於ては革新の功は到底見る可らず從來の官吏は多年事務に熟練して屬僚としては適當の輩も多かる可し或は此一點よりすれば不慣れの新人物を用ふるに比して便利もあらんなれども我輩の所見に於ては其智愚賢不肖に拘らず舊政府の輩とあれば一旦は悉く免黜して部內の空氣を新にせざる可らず敢て其人を惡むに非ず斯くの如くせざれば決して舊習の一洗を望む可らざればなり世間の諺に新主人舊家老の譬あり實際には舊家老甚だ柔順にして却て新主人の便利もあらんかなれども其輩の柔順は只是れ免職を恐るゝが為めにして唯々諾々新主人の命惟れ從ふのみ決して賴母しからざるのみか中には調子を合はせんとして殊更らに過激の改革說などを唱ふるものもある可し王政維新の當時政府の內にて殊に勤王論を喋々したるものは舊幕出身の輩に多かりしと一般、都て是れ雇人根性、免職を恐るゝの情にして敢て咎むるに足らざれども若しも新當局者が其雇人根性に欺かれて依然これを用ふることもあらんには彼等は竊に其與し易きを見て安心を催ほし次第に種々雜多の事を持出して困難の事情を粧ひ夫れとなしに當局者の決斷を妨ること必然にして舊屬僚の輩を此儘に差置きながら行政上の刷新を行はんとするは到底出來ざる相談なれば何は兎もあれ斷じて免黜せざる可らず素より其人を惡んで之を罰せんとするの趣意に非ざれば罷免の上にて實際有用の人物は再び採用す可し或は今日免職して即日登用するも差支なしとして兎に角に一度は大更迭を行ふて部內を一新し屬僚輩の魂を入替へしむること必要なり我輩の敢て主張する所にして實際に果して斷行と決して一時に罷免を行ふに當り擧これに代はる可き新人物は何れの處に求む可きやと云ふに其人物は多々にして我輩の一手を以て之を供給するに難からざれども茲に至りて第一の差支は任用令の存在なり斯る大更迭に際し一々試驗を以て人を採るが如き緩慢の沙汰は實際に許す可らず即ち任用令の如きは改革を妨る第一の原因にてあれば其破壞は目下の急務と云はざるを得ず思ふに當局者に於ても必ず破壞の必要を認むることならんなれども更らに顧みて其內情を察するに目下官員の無經驗なるは當局者の殆んど困却する處にして若しも任用令を止むるときは獵官の輩は恰も潮の如く寄來る可し其始末を如何す可きやとて單に此一方より其廢止に躊躇するの意味もあらんか否な當局者が實際その掛念の為めに廢止を斷ずる能はざるの事實は我輩の親しく耳にする所なれども抑も獵官熱の為めに云々とは何事ぞや幾千幾萬の獵官者が押寄せ來り門前、市を成して賓客嵩に滿るも當局者たるものは一點、水の如き心を以て之に接し採る可きものは直に之を採り採る可らざるものは千萬縷々の情實を述べて哀願するも又は扼腕激語、強迫を逞うするも一言の下に排斥して麾ぎ去らしむ可きのみ政府の威信は此に於てか見る可きものなり獵官者輩の鋒鋩を恐れ藩閥の遺物たる任用令を楯として其陰に立籠り以て困難を免かれんとするが如きは自家の無力を表するものにして醜態と云はざるを得ず斯る無力の當局者には一日も國事を託す可らず速に政黨內閣の看板を下して自から退くに若かざるなり我輩の取らざる所なれば當局者にして果して所信を行ふの覺悟あらんには須らく本心に立返り大に勇氣を鼓して任用令の廢止を斷行し部內を改革して舊來の空氣を一新す可し我輩の傍より獎勵する所なり或は斯く論じ來るときは官吏の採用に其資格を云々するは全く無用にして任用令の如き永久に廢絕せしむ可きものなるやと云はんに決して然らず今後外國との交通ます〳〵頻繁なる可きは無論にして明年よりいよ〳〵全國を開放して外國人を雜居せしむ可しと云ふ內外人の關係に付き直接に事の衝に當るものは政府の官吏にして今後の官吏たるものは大小に論なく必ず外人に接するの心掛なきを得ず例へば海軍々人の如き海外諸國に往復して外人と交際の必要あるが故に英語を語るは第一に缺く可らざるの資格なりと云ふ明年以後の官吏は世界の外國人を內地に引受けて之を管理するの責任を負ふものなれば外國語の必要は無論にして其資格の第一に置かざるを得ず左れば今後の官吏任用法中の一箇條には必ず英語を解するの規定を設けざる可らず實際の必要として我輩の認むる所なれども目下の事情は甚だ急にして片時も現法の存在を許さゞること前述の次第なれば其規定の細目は姑らく他日に讓り何は兎もあれ一旦は法の根抵より破壞して大に官門を開放し以て大革新の功を收めざる可らず當局者に果して其勇斷あるや否や我輩は此一事を政黨內閣の試驗石と認め敢て之を試みて其勇怯を判せんと欲するものなり

○藩閥政府（八）

伊藤の全盛と藩閥の最期

是より先き明治十四年の政變に依り伊藤井上の兩人は全く民黨に尻を向け藩閥黨に降伏して薩人の後援に依り其地位を保たんと欲するや伊藤は憲法制定の調査として歐洲に航し滯在大凡一年を經て歸朝の後は其思想益々獨逸主義に倣して帝室と政府と密着せしめんとの計略を定め先づ宮內卿と為りて己れの勢力を內庭に植うると同時に當時各皇族の位置は甚だ簡略なりしを更らに重々しく為さん為め殆んど大臣同列の人を舉げて其別當と為したるのみならず更らに又華族令を發して公侯伯子男の位階を造り維新以來の元勳を大方華族に推舉したるなど名利を追ふて仕官する官吏の為めには一方ならざる恩惠を施したる為め政府內の人望も自然伊藤に集まりたるの觀あるに反し民間の言路は一切杜絕に遭ふて其反動一層甚しく悲歌慷慨の壯士漸く天下に橫行し始めたれども政府は一向是等に頓着するところなく明治十八年に至りて伊藤はいよ〳〵總理大臣と為り井上は外務大臣と為りて伊藤の憲法制定と同時に條約改正を成就せしめんとしたれども井上の資性甚だ歐化主義なると共に外人を畏れ憚かる事尋常ならざる為め政略頗る拙にして比年內國實らず貧民飢に泣くもの少からざるの時に當り朝夕唯外人を招して遊宴三昧に日を送る等大に民心に背き且つ內閣に於ても不同意を表するもの少からざりしのみか上表して其不可を論ずるものさへ少からず遂には民論大氣熖を高めて反對演說到るところに盛なりし為め政府は突然保安條例を下して在野の政治家は殘りなく都下を退去せしめ新聞條例、出版條例を一層嚴密にしたれば當時新聞の過半は皆其論說を半ば抹殺して發賣する有樣にして警察の嚴重なる殆んど其極點に達し人間言論の自由は全く剝奪せられたる情あり又た井上は辭職して其跡を大隈に讓りたれども又忽ちにして反對を受け遂に條約改正の事業は國會開設の後まで成功せずして止みたるは既に世人の知る所なる可し

井上の退閣後伊藤も亦一時政府を退きて其跡には黑田、後藤、大隈等半ば薩族にして半ば異種族を交へたる內閣を造りたれども忽ちにして瓦解したる跡は矢張り伊藤の掌中に歸して爾來國會の開設後まで伊藤は終始政權の大勢力を保持したる事は世人の知る如くなれば煩に喋々せず唯最初薩人を厄介にしたる政府內の進步黨が遂に此厄介物に降伏したるの結果として其最期も亦此厄介物と同伴するの止むを得ざるに至りしは好からぬ男に心中立てして遂に情死を遂げたると同じ、未來永劫蓮の臺を二つに別ちて薩長互に坐するや否や閻魔の廳にも此判斷は困難なる可し

○秘密主義を廢す可し

償金の收支計算は經濟社會今後の成行と密接の關係ありて目下世間の一問題となれる公債買入れの程度の如きは結局償金の餘裕如何に依るものなれば其計算は實業家を始め世間一般に知らんとする所なるに當局者の說に據れば昨今政府が銀塊賣却公債買入れ等に着手し居る際に斯る計算を公けにするときは實業

家の間に投機
政府に現存
らんには貴
ければ當分
云ふ外交上
自から秘密
般の行政殊
の必要を見
稱して實情
面に於て如
計られずと
下して却て
を得ず例へば
額二億二千
に繰入る可
償金特別會
若干を除き
計法に依て
には公債買入
して實業家の
から覺悟する
の計算を示さ
して暗中に
を警まざるを
したる秘密主
るは勿論、從
密として一般
者の間には自
ならざるの姿
も畢竟斯る
一奇習たるの
長するものと
々に研究の材
はるゝを幸ひ
占し以て自か
はるゝも辯解
るも全く當局
舊慣を株守す
近き邊より秘
の如きは
じく時々世間
を一掃するこ

○各大臣

憲政黨は舊自
るや政變に會
るゝとしなり
して黨內の
を[illegible]融した
る大政黨が融
今猶は見るべ
り未だ大に經
の實情斯の如
閣の首大臣は
謀議するには
僚を與ふるに
はなく議員
るの內議あり